

なんどもありの祖谷の祖谷

てんご新聞



合併して六年度、市と市と合併して変わらぬ、市民ごもりありの祖谷は、まだまだ続いていくようござす。

日本中、いや世界からも東日本復興、原発により人災とよこしている東北、関東の皆さんを支援しようとして頑張っている時、龍河産コテージの管理人の首切りを三月末に突然通告してきた。

噂では、三好市のトップが東社谷の市議員が画策し、ミニミニ天下りの人事を強行してしま

以来、おと役所を退職したことはいい人物を年勤めて退職をくり返す、いまだ赤字経営が続いている。誰も責任をとることもなく、税金をばらまき、そして再び、コテージも同様にはりそうござす。何が行政改革ですか、こえな経営をくさい。

観光びんの事業をしたことはい人物を管理人とくして雇用しようとした、今回の動きで、観光とは、三好市全体のイメージが産業」ではなく、一部の人達による観光という美名の裏で、私物化した行動だと言わざるをえませぬ。

市民参加の市政のかけ声の裏で、市民不参加の芽を育んでいるのですから悪質だ、こえな事で、地域活性化とか地域再生が本当に実現するのだからどうか。

ルールを守り、公平化より公正化（なりが守られない）、びんどもありのやり方では、他者が目に入らば、自分や自分の周りにしか関心がなく、内向きになり、東社谷とか三好市全体のことは目か向かなくなり、ますます。

緒や度、そこの様の被害が拡大している祖谷、それ以上に、人々の中に「まだかよ」という諦める気持ちかえがっていることの方が重大だともいえます。

地域を良くしていく力は、人々のやる気、希望が持てるサポートが欠かせません。

それは、議員さんや市政のトップや幹部、そして実力者と言われる地域の人が、どう行動く、何をやるのかが問われています。

本当に、自分達の周りの人たちにだけ「思いやり」や「おびかり」は、やめて下さいよ。

No.16 5月 行任 0553-66-529

た、法規をえ懸念した今、四の首切りは、自ら「地域私物化」を証明したもので、いえるべきよう。

いせしの温泉も、オアデー

山歩き季節

山は泣いてます



五月一日は剣山の山開き、いよいよ山歩きのシーズンが始まりました。

山好きの人にとっては、家がひとつはしつづらぬ山に泣いてます。

でも、この山へも勝手に入山し、その上、インターネット上に公開し、多くの山好きが歩きはじめると、また他の山を歩き回ることになり、山が荒れると、自分もまた自然が壊れる残る山へ、...

もう、やめてくれませんか。

せめて、山が荒れる加害者にはならないようにして下さい。

こえな勝手な「山好き」は、祖谷の山には登らないうござす。祖谷の山だけではない、どここの山へも登るのをやめようござす。自分家の近道を荒らす下さいよ。